

10

次の文章は、ある物語の一部です。この物語の中で、主人公のローワンは自分たちの住んでいるリンの村を救う者として選ばれました。ローワンは、村人が自分をどのように見ていると感じていますか。もつともふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ローワンは、恐怖と孤独と恥ずかしさを、どれも同じくらいひしひしと感じていた。もう耐えられなかった。村人たちが痛まじげな目で自分を見ることに、耐えられなかった。だれもが「なぜこの子なんだ？ リンの中でいちばんいくじのない子なのに」と思っているにちがいない。それなのに、運悪く村を救う者として選ばれてしまうなんて！ みんなを失望させることしかできないの！

(エミリー・ロッダ さくまゆみ訳 『ローワンと魔法の地図』あすなる書房 による)

- 1 村人は、ぼくが一人でさびしく生きていくことに耐えられないだろうと見ている。
- 2 村人は、村でいちばんいくじのないぼくが選ばれたことをかわいそうだと見ている。
- 3 村人は、ぼくが困っている村人を思いやることができる強い心をもっていると見ている。
- 4 村人は、ぼくが村の子なのだから村を救うものとして選ばれるのは当然だと見ている。